

2022年2月18日(金)

■会長／北川 和彦 ■幹事／飯田 兼光

◆司会＝玉本 広人 SAA

◆ゲストビジター＝なし

◆会長告知・北川和彦会長＝北京の冬期五輪も最終段階に入り、いろいろな話題が出ていますが、ロシアのワリエワ選手のドーピング問題は残念です。メダル至上主義のコーチ等の考えかと思いますが、なぜ15才の子どもに薬物を与えるのか疑問です。連日、見所満載のレースが続きますが、昨日の女子カーリングははらはらさせられました。以前と違って今回の五輪では体力的・技術的に欧米の選手と対等に戦えていて、特に女子のアイスホッケーのぶつかり合いには驚かされました。他の競技でも日本の選手の頑張りに元気づけられています。

さて今月は平和と紛争予防、紛争解決月間です。

日本は戦後、憲法で国際協調主義を採用して他国の信義に信頼して自国の安全を保持しようとしたしましたが、朝鮮戦争の勃発、冷戦という流れから、世界は紛争拡大の時代に入りました。今週にもロシアがウクライナに侵攻するのではとの報道もあって、国際紛争において軍事に頼る傾向は強くなる一方です。

「AI 監獄とウイグル」(新潮社)という本を読みました。新疆ウイグル自治区では、住民の血液、DNA、顔面認証、会話盗聴、メールなどのあらゆる個人データを収集してAIで分析し、テロや犯罪を起こしそうな人物を見いだして、施設に収容して再教育をするということが、168人のウイグル人へのインタビューによって明らかにされています。ナチスのユダヤ人虐殺を思わせる人種の浄化政策で、戦慄を覚えます。

中国の台湾侵攻が6年以内に現実化すると予想があり、南沙諸島では米軍が日本の自衛隊と共同訓練をしています。日本にとっても戦争が身近になってきました。

創立65周年の記念事業として、沖縄戦の少年ゲリラ兵の活動報告や、先輩会員からの戦争体験の報告を通じて、戦争を考え、ロータリー創立時の熱気を感じようとする企画が立てられています。

戦争を語れる年代が少なくなり、今こそ戦争を語り継いでいく必要があると思いから企画されました。ご期待ください。

本日は、国際奉仕委員会の担当例会です。菊池先生よろしくお祈りします。

◆幹事報告・飯田兼光幹事＝本日の例会は国際奉仕委員会の担当です。菊池委員長、後ほど宜しくお祈り致します。「ロータリーの友」購読料について改定がございました。45年間にわたり200円となっておりましたが、2022年7月版より250円(税別)となります。3月11日に予定されておりましたロータリーアクト合同夜間例会は理事会にて審議の結果、中止と致しました。蔓延防止期間延長解除後の開催予定ではありませんが、もろもろ準備の関係もあり、早めの判断が必要と思われる決定させて頂きました。ご承知おきください。次回2月25日の例会は ガバナー補佐訪問となります。三井ガバナー補佐

にもリモートで参加頂きます。多くの皆さんの参加をお願い致します。以上です。

◆委員会報告＝65周年実行委員会・川村総一郎事務局長

今までの経過と今後の予定を報告します。65周年事業として、昨年10月に上諏訪中学校にて、書画カメラ、プロジェクター、図書カードの贈呈式を行いました。その後、引き続き「挑戦・スワコエイトピークストライアスロン～ふるさと諏訪への熱き想いを込めて」と銘うち小島会員に記念授業をしていただきました。ご苦労頂きました玉本部長、報告例会をしていただいた高橋副会長、熱い授業をしていただいた小島会員に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。又、越年事業として8月に書籍「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」を諏訪中学校におきまして子供たちに贈呈しました。今後の予定は、5月末までに記念誌の発行、6月5日(日)に記念式典・祝賀会を企画しています。また、北川会長と古屋実行委員長の思いを受け、3月4日に特別例会の開催、3月中にクラブ内選抜メンバーによる「思い出懇談会」を企画いたしました。詳細につきましては各部長に報告をいただきたいと思っております。

なお、特別例会、思い出懇談会等当初予定になかった事業につきましては予算の再編成をさせていただき、理事会にお諮りしていた上で皆様にご報告いたします。

●65周年記念誌部会・宮坂康弘部会長＝11月18日に記念誌部会の初会合を開き、記念誌に掲載する概要を確認しました。基本的には、55周年記念誌と60周年記念誌の内容に沿った形で編集作業を進めていきます。発行部数は150部。発注先は、60周年と同様にジェイキッズ様です。家族写真は、小針会員の協力で入力フォームを制作してもらい、会員がインターネットで写真送信できる仕組みを構築してもらいました。1月6日に全会員に一斉に送信を依頼しました。本日現在で、家族写真は39人の会員から寄せられました。残る11人の皆さんには、この場をお借りして協力を求めたいと思っております。これまでに、2017-18年から、21-22年の5年間の会長、幹事の皆様から所感を執筆してもらいました。このほか、こちらから執筆を依頼した原稿は、順調に入り始めております。

今後は、3月4日に行われるリモート講演会の内容と、3月中に計画されている「思い出懇談会」の記事を編集して掲載する予定です。思い出懇談会は、①創立期のメンバーとともに過ごした例会・活動のエピソードから学ぶ②創立期のメンバーの生き方(戦争体験と平和希求・事業展開・社会貢献・ご家族)を紐解く一をテーマに開催する予定です。参加予定者は、ロータリー歴が長い会員を中心に北川会長、飯田幹事のほか、オブザーバーなど総勢15人程度になります。3月末には全原稿の入稿を目指します。4月半ばには校正作業に入り、5月上旬の校了。印刷へ移行する方針です。ページ数は前回よりも4ページ増量の108ページになる見込みです。なお、表紙と見返しの紙の色と紙の材質は、先日、古屋実行委員長に決めていただき、過去2回を踏襲した白系にする予定です。今後とも、会員の皆さまにはご協力をお願いします。

●65周年式典部会・花岡秀則部会長＝

【65周年記念式典・祝賀会/6月5日(日)開催予定】について、式典・祝賀会合同部会は1月28日に当日の流れと今後のスケジュール等について話し合いました。式典・祝賀会場は「ぬのはん」さんで、式典は午後3時点鐘の予定です。司会は小針会員と奥様をお願いいたしました。記念講演を予定して

おり、講師は養命酒製造の代表取締役会長の川村昌平様をお願いいたしました。川村会長は岡谷出身で「諏訪の未来展望」をテーマにお話いただく予定です。祝賀会は4時半以降の開始予定です。詳細が決まりましたらご報告いたします。ご招待者は諏訪市長や2600地区のガバナー、パストガバナー、ガバナー補佐、松本と諏訪エリアのロータリー会長及び幹事など予定しております。来月上旬をめどに確定し、案内状を発送する流れになります。準備は5月の連休明け以降に本格化しますが、それまでに皆さま方には当日を含めた作業分担についてお願いする形となります。決定次第、ご報告させていただきます。

【65周年記念特別例会/3月4日(金)開催予定】について、過日、65周年記念実行委員長の古屋会員から企画展開についてご説明がありました。諏訪クラブの草創期を支えたメンバーのおひとり、岩波壽さんにスポットをあてさせていただきます。岩波さんはかつて沖縄戦で将校としての体験があり、その後の企業人として地域貢献をされました。岩波直前会長のご尊父様です。当日は岩波さんをドキュメンタリー映画で紹介した監督の三上智恵さんにご講演をお願いしています。続いて座談会を計画しています。三上さんと現在、沖縄・恩納村で村史編纂に関わっている瀬戸貴博さん、北川会長、岩波直前会長の4人の方に、岩波壽さんの足取りを通じて平和への願いとロータリアンの社会的使命について考えていきます。なお、詳細については改めてのご連絡となりますが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いているため、当日はオンラインによる開催となる見込みです。

◆クラブフォーラム 国際奉仕委員会 菊池俊樹委員長＝北川会長からもありましたように、現在北京で冬季オリンピックが行われておりますが、思い出すのは1984年のサラエボの冬季オリンピックです。サラエボでは北沢欣浩選手が一発屋などと言われながらも銀メダルを獲得したのが記憶に残り、黒岩選手が10位に沈んだと、そういう大会でしたが、スピードスケート界では北沢選手が初めてのメダリストだったというのが、最近調べて知ったところでもあります。昨日は高木美帆さんが1000メートルで金メダル、小平奈緒さんは奮っておりません。そんなオリンピックが現在開催中ですが、そのサラエボと言えば、紛争としてボスニア・ヘルツェゴビナ紛争というのが、1992年から1996年にわたり生じていました。2月が平和と紛争予防/紛争解決月間に当たっておりますので、過去の例会ですと、会員からの卓話や外部からの卓話をお願いしているようですが、今回僭越ながら私が説明をさせていただきたいと思います。今回、国際ロータリー日本事務局事務推進・IT室から2600地区に資料が送られてきました。その一部が今回使わせていただいているパワーポイントの画像です。1955年2月23日にシカゴで4人の友人が集まり、最初の会合を持った日を創立記念日としてその日を「世界理解と平和の日」と決めております。その後、2月は「世界理解月間」でしたが、2014年のRI理事会で、「平和と紛争予防/紛争解決月間」に変わりました。紛争予防と救済に関する若者を対象に、研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防、紛争解決に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人への奨学金を支援しております。そのロータリー平和フェローシップというのがパワーポイントの内容となっております。(詳細は当

日資料ご参照ください)

ロータリー財団の父と呼ばれるアーチ・クランプが「ロータリーは大学ではないが果たすべき教育的な役割がある。世界中の人々に関心を友好的な協力という概念に向けさせることだ」と言っております。紛争への対応として、紛争の原因について学ぶ平和フォーラムを開始し、市民同士で話合う機会を提供する、社会に疎外され、暴力に迫害された人々を支援する。紛争により親を亡くしたり、負傷したり、心に傷を負った子供たちを助ける。ロータリーはこのような紛争対応に行動しようと呼びかけています。ロータリーは異文化交流を通じて、相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材教育を通じ、平和な世界作りを促進しております。我々ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや世界平和フェロー奨学生の支援を通じて、貧困、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組む行動をしております。以上です。



◆今後の例会日程

2月25日	金	クラブ協議会 ガバナー補佐訪問
3月4日	金	65周年特別例会
3月11日	金	アト合同例会